

2022 年度

学校評価結果について

学校法人旭川カトリック学園 旭川聖母幼稚園

稚園

1. 本園の教育目標

キリスト教の精神と理念に基づき、「おいのり」「しんせつ」「がまん」の心を育て他者に対する思いやりと自己犠牲の精神を育みます。

幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し周りの世界に興味をもち探索し思考する過程の中で基本的生活習慣を身につけるとともに集団生活のルールや友達とのかかわりをとおして感謝の心を育みます。

また、幼児と教師の信頼関係を大切に一人一人に寄り添った心が通う幼児教育をめざします。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

さまざまなニーズを抱えるこどもが増えています。今日、保護者からは質の高い保育を実践することが求められ、私たち保育者はその思いに応えるべく日常から積極的に各種研修に参加し学習の機会を増やすことで個々の能力向上に努め幼児一人一人に寄り添った保育を心がけます。毎週火曜日に「神様のお話」、毎月の「お誕生会」にはお祈りと、祝福をして下さる神父とのふれ合いをとおして神様とのかかわりを大切にする心を育てていきます。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目・目標	取り組み状況
1. 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	教育要領に基いたカリキュラムの作成にあたっては、実態に即したものになるように反省・検討を行っています。今年度も幼児の興味や関心の高い園外での自然体験学習に力を注ぎ、川や森、山などへ出かけたことで今まであまり関心のなかった植物や生物を観察する機会を得、新たな発見体験となりました。 今後も内容の精選につとめ幼児に貴重な学習環境を提供したいと思います。
2. 保育の在り方幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	保育中の幼児の怪我や事故はあってはならないがそこを意識しすぎて萎縮するのではなく、幼児にはいつも安全にのびのびと遊ぶ環境を提供します。そのため職員の配置を工夫するなど幼児の行動を前もって想定し準備することにより個々の幼児が安定した情緒のもとで行動できるようにします。 未就園児への園開放にも積極的に力を注ぎ園外活動など魅力あるプログラムを作成することにより、多くの親子に参加してもらえるようにはたらきかけします。
3. 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等の資質向上を図る。	私たちは幼児教育のプロという意識を常に持ち、日頃から自分を高める努力を惜しまず、自分の課題を見つけ研鑽しつづける必要があります。現在の教育は「自ら学び自ら考える力を育成すること」をねらいとしています。そのために保育者が自ら学び自ら考えて専門家としての能力を向上させなければなりません。 保育者にとって保育をするということは仕事ですがそこに楽しみや喜

	<p>びを見だし心に余裕をもち幼児たちと一緒に成長できるようにします。</p>
<p>4. 保護者への対応及び家庭との連携</p> <p>園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応を図る。</p>	<p>保護者の幼稚園への期待が大きければ大きい程さまざまな願いが生じると思っています。保護者からの意見や要望をしっかりと受け止め適切にそして速やかに対処することが大切です。幼稚園として共通理解を持って対処し、表面的なことだけを取り繕うのではなく客観的な判断に基づき改善に向けてとり組むことにより幼児の成長につながると思っています。</p> <p>また苦情などについては副園長が窓口となり分かりやすく丁寧な対応により十分に納得してもらえるようにしました。</p>
<p>5. 地域社会との連携</p> <p>地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。</p>	<p>幼児がスムーズに小学校へ移行できることが大切です。</p> <p>そのためには幼稚園と小学校がお互いの教育の在り方を十分に理解することが必要です。</p> <p>当園としては朝日小学校との情報交換は緊密に行うように心がけていますが他の小学校との連携もしっかり行うようにしなければならぬと思います。</p> <p>また地域在住の卒園児の方から園のPRを積極的にするようアドバイスされました。(高齢者とのつながりなど)</p> <p>未就園児への園開放も定期的に行っていますが、これからはもっと園外に出かける等して親子ともに楽しめる魅力あるプログラムを作成し多くの親子に参加してもらえるようにします。</p>
<p>6. 研修と研究</p> <p>研修・研究を積極的に行い、専門性を高める努力をする。</p>	<p>保育の質を高め専門家として自らの専門性を磨き向上させるための研修・研究を日々重ねることが大切です。コロナの影響でオンラインやZoomなどにより各種研修が配信されることで今までより容易に受講できたことは良かったと思います。自分を高めるためには研修や研究も大切ですが何よりもいま目の前にいる幼児たちがもっとも多くのことを教えてくれていることを理解することが大切なことと思います。</p>
<p>7. 情報公開</p> <p>保育の現状や自己採点・評価の結果等を個人情報の保護に留意しつつ積極的に園日より等で公開する努力をする。</p>	<p>園日より、クラス日より、週案の配布、HP、マチコミ、インスタグラムによる配信にて、幼児が今何をしているかを伝えるようにしました。HPも昨年リニューアルされたのに伴い外部の方が閲覧し転園時の参考になっているとのことでこれからも保護者の皆さんを含めた外部への発信を積極的に実施するようにします。</p>

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

日常の保育において幼児一人一人に寄り添ったきめ細かい対応を目指しました。多様なニーズの幼児とのかかわりの中で保護者はそれぞれが自分の役割を認識し信頼関係を構築し組織的な対応ができて来ていると思います。

また、コロナの影響で全ての行事に影響がありましたがその時点で「今できる事」を幼児たちに体験させられたことは良かったです。今後も保育者と保護者がお互い協力して幼児に記憶に残る体験をさせてあげるような関係でありたいと思います。保護者からは保育、行事、園からのお知らせ等に対し、概ね満足の評価を頂きましたことに満足せず今後も職員一同一致団結して頑張ります。

5. 今後取り組むべき課題

安全管理	<p>幼児が常に活動する保育室をはじめとする各施設での安全対応と、教職員の意識づけ、および安全管理マニュアルの理解につとめます。</p> <p>緊急時の対応を整然と遂行できるよう組織図を作成し保護者それぞれの役割分担を明確にすることで幼児を安全に避難誘導できるようにします。</p>
特別支援教育	<p>さまざまな支援を必要とする幼児が年々増加しています。キリスト教の精神と理念に基く幼稚園として支援を必要とする幼児に対してしっかりと寄り添います。</p> <p>また市の子育て支援等発達に関わる諸機関との連携を強化し幼児が安心して教育を受けられるように幼稚園としての役割を果たします。</p>
園に対する保護者の満足度	<p>本学園の建学の精神に基き子育て中の保護者が期待する幼稚園像を理解し教職員一人一人が幼児にも保護者にも満足と安心を与えられる保育を心がけます。</p>

6. 学校関係者の評価 A 満足 B やや満足 C やや不満 D 不満 総数 53

- ① 保育の計画性 A45 B5 C2 D0 ②保育者としての資質と能力 A40 B12 C0 D0
 ③ 保護者への対応&家庭への連絡 A39 B10 C1 D2 ④ 地域との連携 はアンケート項目からもれていましたので地域社会との連携を参照してください。 ⑤ 研修と研究 A38 B12 C0 回答無し2
 ⑥ 情報公開 A42 B9 C0 D1 ⑦ コロナ対策 A44 B8 C0 D0

<良かった点>

- ◎行事への配慮が感じられてよかった。(6)
- ◎安心して預けられる (多数)
- ◎ブログ、手紙、電話で子どもの様子を知らせてくれる。(5)
- ◎先生方が園児にきめ細かく接してくれているのが嬉しい。

<反省・改善を望む点>

- コロナへの対応、処置に対する情報の収集と取り組みの徹底を望む。
- 先生方の研修と研究は内容がわからないので評価できない。
- 園での様子がわからない。
- 英語教室等学習意欲の向上に繋がるものを取り入れて欲しい。(2)

<保護者からの評価のまとめ>

「A満足」「Bやや満足」の評価を多く頂きました。反面厳しい指摘もあり、その点についてはしっかり反省し、検討することで保護者の期待と信頼に応えられるよう全職員力を合わせて取り組みます。

7. 財務状況

大手監査法人である太陽有限責任監査法人（東京）の監査を受けて適正に運営されていると認められています。

また、法人本部の財務状況報告により法人内各幼稚園及び学園全体の財務状況は職員の間にも周知されており、共通理解に立って能率的な運営に努めています。